

第二回 安全・安心に関するシンクタンク設立準備検討会 議事要旨

1. 日時

令和 4 年 12 月 23 日 (金) 10:00~11:00

2. 場所

オンライン

3. 出席者

(有識者)

上山 隆大	総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員 (座長)
青木 節子	慶應義塾大学大学院法務研究科教授
金子 将史	政策シンクタンク P H P 総研代表・研究主幹
白石 隆	政策研究大学院大学名誉教授
角南 篤	笹川平和財団理事長
西山 淳一	未来工学研究所研究参与
橋本 和仁	内閣官房科学技術顧問、科学技術振興機構理事長
松本 洋一郎	外務省科学技術顧問、東京大学名誉教授

(政府側)

松尾 泰樹	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局長
奈須野 太	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局長統括官
覺道 崇文	内閣府科学技術・イノベーション推進事務局長審議官

4. 議事概要

(1) 安全・安心シンクタンクの立上げに向けた中間整理案について

【資料1】を用いて、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局 覚道審議官から、安全・安心シンクタンクの立上げに向けて、シンクタンクにおける当面の具体的なミッションとシンクタンクの果たすべき役割・機能についての説明を行った。

(2) その他

【資料1】を踏まえて、意見交換を行った。

本検討会における主な意見は次のとおり。

- 重要技術の研究開発・調査分析プロセスについては、まず我が国にとって重要な分野を決め、その分野の中でどの技術が我が国にとって必要かを検討し、その後、当該技術に対する国際比較や既存技術との比較等により具体的な優位性等を検討するといった階層性を持ったアプローチにより実施していく必要がある。このプロセスの中で、政府に有意な情報提供ができる機能がシンクタンクには求められている。
- 経済安全保障推進法との関係も念頭に入れて、安全・安心シンクタンクの検討を進めていく必要がある。安全・安心分野には安全保障分野が含まれると思う。また、OJTによる人材育成は重要。シンクタンクの機能を早期に立ち上げるために、パイロット事業を行う必要がある。パイロット事業を通じてニーズとシーズをマッチングさせ、目利き人材を確保し、人材養成をすることが可能となる。シンクタンクの研究成果を社会実装に繋げるため、階層性も考慮しながら、シンクタンクの機能を目に見える形にしていくべき。
- シンクタンク立上げ時点からシンクタンクとして確立する時点までの間において、情報収集や人材育成の部分でやるべきことを具体化していくことが重要。人的ネットワークの強化という点については、会議等のオフィシャルな場以外で顔を合わせて交流できる場等をつくる必要がある。
- シンクタンクのカスタマーを明確にする必要がある。省庁横断的な安全保障・経済安全保障の方針を示す部門がシンクタンクにリクワイアメントを出し、それに応える提言を受けべき。シンクタンクは研究を行うだけでなく、カスタマーの意思決定に資する調査分析や提言を行うことが重要。サイバーなど省庁を横断した事項について

て関係省庁の合意形成に資するように研究していく必要がある。潜在シーズ・ニーズの見える化については MITRE のシミュレーションツールなども参考として、手法を確立していく必要がある。シンクタンクにおける当面の具体的なミッション実現に向けて、統合的な意思決定のメカニズムから調査分析成果を提供するまでのサイクルをどのように設計するのが重要。

- 常に政府側と連携し、フランクな意見交換ができる関係を作ることが重要。シンクタンクは国際情勢を把握し国外のシンクタンクと連携することができるような、組織のコアとなる優秀な人材を確保する必要があるため、魅力的な中・長期的なミッションや見通しのある組織形態となる必要がある。また、中央研究所的なものではなく、ネットワーク型がこの機能を果たす上では有効だと考える。先端重要技術については、自律性だけでなく優位性を維持し、不可欠性のポテンシャルを持つ技術を育てていくようなプログラムが重要である。
- 経済安全保障にフォーカスするだけでなく、広く様々な情報を集められる組織体としてシンクタンクをどのように構築するのか、シンクタンクの全体設計を議論する必要がある。情報収集については、OSINT情報をどのように集めるかという点と、どういう風に人脈を国際頭脳循環も含めてネットワーク化していくのかという点を議論することも必要ではないか。在外公館等からの情報収集については、公電だけでなくアタッシェからの情報もネットワーク化することが重要。シンクタンクの整理や運用についても同時並行で議論していく必要がある。分断化されている情報をどこにどのように集約してインテリジェンス化していくのか、という点も議論する必要がある。人材育成についてはポテンシャルがあり、色々な意見や情報を持っている人をデータベース化しておき、組織化する必要がある。
- このシンクタンクは国際的なインテリジェンス活動を担うことが期待されている。そのための人的ネットワークの構築や人材交流という観点は極めて重要。
- プロジェクトによっては、長期的なものや短期間で結論を出す必要があるものが混在するが、シンクタンクが人材を採用する仕組みについても議論する必要がある。また、人材を育てていくためにも、国外のシンクタンクとの人材交流や連携強化は必要である。

(以 上)